

人権機関有田川委員研修会

1月31日（金）18時30分から真道
 ゴー氏を講師にお迎えして人権機関
 有田川委員研修会を行いました。

夕方から夜にかけての忙しい時間
 帯にも関わらず、大勢の委員が参加
 しました。当日参加した委員から感
 想をいただきましたので紹介します。

人権機関有田川 委員研修会

真道ゴーさんによる講演「自分ら
 しく生きる」を聴かせていただきま
 した。

真道さんは和歌山県初の女子プ
 ロボクシングチャンピオンで、「女
 で敵なし」と言われた方です。ま
 た一方で、現代社会において13人
 に1人とされる性的マイノリティ
 (LGBT)の方でもあります。

真道さんは、和歌山の自然豊かな
 場所で生まれ育ち、環境のおかげで
 優れた運動神経を身に付けられまし
 た。小さい頃から「オリンピックに
 出て、金メダルを獲り、家族旅行を

する！」そんな夢をもちながらも、
 悪さばかりしてきた青春時代だった
 ようです。

男子の遊びが好きだったが自分に
 うそをつきながら女子に合わせるよ
 うにしていたという真道さん。「み
 んなど違っているけれど何とかな
 る」と、高校・大学と女子バスケッ
 トボールに打ち込まれたそうです。
 しかし時がたつにつれ、周囲に性同
 一性障害を知られることになり「私
 たちとは違う」「キモい」「去れ」など、
 いじめがエスカレートし、「人生何
 とかなる」という思いだった真道さ
 んも、19歳のころには生きている価
 値のない人間だと悩み、バスケット
 をやめ、死ぬことまで考えるほど思
 いつめたといえます。

悩んだ末に家族に打ち明けると、
 母親は謝ってくれたそうです。「生
 きていてくれてありがとう」「あな
 たが笑顔でいてくれる。先のことな
 んか考えず、今を一生懸命に生きよ
 う。・・・」という母親の言葉に救
 われ、前向きに生きていこうと決心



できたと話されました。その時、出
 会ったのがロボクシングだったよう
 です。

真道さんは自分の過去を終始笑顔
 で軽快に話され、力強く、胸を張つ
 て生きている——そんな余裕と自信
 が感じられ、引き込まれていくよう
 な講演でした。「近頃は性同一性障
 害に対して、差別・偏見の目がなく
 なってきているが、理解することは
 難しく、知ってくれたら」「人より
 苦勞するが、『自分なんかどうせ…』
 ではなく、自分を好きになり、自分
 を認め、今日、明日、笑顔で頑張れ
 るものを見つけ、頑張れば必ず報わ
 れるから」と強く訴えられました。
 一人一人が尊重しあい、だれもが
 その人らしく、人生を笑顔で過ごせ
 る。そんな社会であってほしいと思
 います。

人権機関有田川 寺杣記美

啓発活動を行いました



令和元年（2019年）11月27日（水）に清水地域の
 学校・事業所訪問を行いました。また、11月28日（木）
 にJR藤並駅で街頭啓発を行い、吉備・金屋地域の学校
 訪問を行いました。

（左写真=事業所訪問の様子、右写真=JR藤並駅での啓発活動の様子）

お知らせ

人権特設相談所

3月19日（木）、人権特設相談所
 を開設します。相談は無料で、秘密
 は厳守されます。

●場所／きび保健福祉センター
 ●時間／13時～16時

人権に関する問い合わせ

有田川町教育委員会 社会教育課
 電話 22・4513
 ファクス 32・4827